

第1学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 言葉（長音・促音・拗音・拗長音・撥音など）を正しく読み書きすることに個人差がある。 相手を意識して聞いたり、声の大きさに気を付けて話したりすることに課題がある。 句読点の打ち方や、かぎ（「 」）の使い方を理解して文章を書くことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 正確に読み書きすることができるように繰り返し指導する必要がある。 相手を見て、最後まで話を聞く態度やその場に合った声の大きさで話す力を育てる必要がある。 文章の書き方の基本形を身に付け、表現力を高めることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 書き方の教材（MIMなど）を使用し、定着できるようにする。また音読カードを活用し、正確に文字を読む力の向上を図る。 「聞き方・話し方あいうえお」を常時掲示し、基本を意識させる。また、朝や帰りの会でのスピーチなど、話す・聞く場面を日常化し、話す・聞く力を高める。 原稿用紙の使い方や、書くときの基本ルールが身に付くように、視写を取り入れたり、正しくない文章を正しく書き直したりする学習を取り入れる。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 減法の中の求差の場合の理解に課題がある。 20までの数の構成を数字で表現することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 求差の場面も減法の式に表せることを理解させる必要がある。 20までの数について、10のまとまりといくつという構成ブロックと数字で表現させながら理解させることが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ブロック操作を通して、求残や求補と同じであることを理解させる。「ちがいはいくつ」という場面を普段の生活の中でも見つけ、式に表せるようにする。 ブロックや数直線を活用しながら、「10のまとまりと端数がいくつ」とみて考えられるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 植物や動物の観察や身近な人々と直接関わる活動を通して、活動を楽しむことはできるが、自分の思いや願い、気付きをもつことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然や生き物、身近な人々と関わる活動を通して思いや願い、気付きがもてるようにする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動のめあてを示し、校外活動や動植物と関わる体験的活動を多く取り入れ、児童の行動や吹き、記録から児童の気付きをとらえ、全体に広め認めることで、気付く力を高めていく。 観察の際は、色・形・大きさ・数・手触り・匂いなど、見る視点を明確にし、変化を見付けることを意識させる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 友達の楽器の音や伴奏を聴きながら、自分の音を合わせて演奏しようとすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業時、必ず「音楽を聴く」時間を設け、「聴く」活動の習慣化を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 「まねっこ」ゲームに楽器を取り入れながらリズム遊びにつなげ、楽しみながら楽器の「音色」や「リズム」を聴いて繰り返す活動を積み重ねていく。

図工	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくのびのびと自分の思いを作品に表すことができる児童が多いが、さらに一工夫したり、発想を広げたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発想を広げるために時間を確保したり、表現の基本的な技能を身に付けさせたりすることが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技能を身に付けられるよう、はさみやクレヨン・パス等の様々な使い方を教え表現の幅を広げる。 ・友達の表現のよさを感じたり、友達と一緒に発想を広げられるような学習環境の工夫をする。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・勝つことだけにこだわり、きまりやルールを守れなかったり、安全に気を付けながら素早く行動したりすることに課題がある。 ・集団行動など、友達と動きを合わせることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを守ることや負けを受け入れることの大切さを理解させる必要がある。 ・集団行動をすることの必要性や良さを学ぶ必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールを共有する時間を設けたり、理解を確認しながら運動に取り組ませる。安全指導を常時行い、危険な行為を未然に防ぐ。 ・整列・集合の仕方などを繰り返し練習し、基本的な集団行動が身に付くようにする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くし助け合うためにはどうしたらよいかをたくさん考えることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童の発言を促したり、ペアやグループでの話し合いをしたりして、多様な意見を取り上げていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良くするためには、あったか言葉をかけたり、相手の気持ちを考えたりするとよいことに気付かせる。また、自分の考えをもち発表しやすい授業作りをする。